

平成30年度 第2回我孫子市健康づくり推進協議会 議事録						
(1) 会議の名称	平成30年度 第2回我孫子市健康づくり推進協議会					
(2) 開催日時	平成31年2月22日(金) 午後7時から8時まで					
(3) 開催場所	我孫子市保健センター3階会議室					
(4)	委 員 (市職員以外)					
出席又は欠席した委員	欠	池田紀子委員	出	土井紀弘委員	出	岩部弘治委員
	出	鈴木大雅委員	出	宮本典子委員	出	尾上匡史委員
その他会議に出席した者の氏名 (傍聴人を除く)	出	江畑幸彦委員	出	和久井綾子委員	出	鴨下隆委員
	出	山口久枝委員	出	堀北敬治委員	出	長妻和男委員
	出	永嶋久美子委員	出	内田裕美委員	出	西田歩委員
出：出席 欠：欠席	事務局その他市職員の出席者					
	健康福祉部	根本久美子課長	加崎仁課長補佐	津川智課長補佐		
	健康づくり	長島公子主査長	村田真友美主査長	清水豪人主査長		
	支援課	鈴木理香主査	千歳真里主査	武田ゆかり主任		
		岡花主任				
(5) 議題	(1) 第2次心も身体も健康プラン中間評価について (2) その他					
(6) 資料	1. 次第 2. 第2次心も身体も健康プラン中間評価実施案(資料1) 3. 第2次心も身体も健康プラン中間評価に係る健康についてのアンケート調査票確認について(資料2) 4. 健康についてのアンケート調査票(案)への意見(資料3-1) 5. 20歳代-80歳代「健康についてのアンケート」ご協力のお願い(資料3-2) 6. 小中高校生「健康についてのアンケート」ご協力のお願い(資料3-3) 7. 20歳代-80歳代 健康についてのアンケート調査票(案)(資料3-4) 8. 小学校1年生保護者健康についてのアンケート調査票(案)(資料3-5) 9. 小学校4年生 健康についてのアンケート調査票(案)(資料3-6) 10. 中学生・高校生 健康についてのアンケート調査票(案)(資料3-7)					
(7) 公開・非公開の別	公開					
(8) 傍聴人の数 (会議を公開した場合)	傍聴人の数 0人					

【会議の内容】

土井会長より、次第に沿って、議事が進行された。

土井会長

今日は平成27年度から始まりました第2次心も身体も健康プランの計画の進捗状況を、5年たったのでアンケートによって成果を確認するというものです。

平成25年度に行ったアンケート結果が精緻なもので、各年代にわたって、健康状況等が調べられています。5年経ってどのようなアンケートを行っていくか、新たな追加項目もありますので、それらを検討していくということです。

我孫子市の高齢化率が29.6%を超えていて、我孫子市のみならず高齢化が進んでいまして、更に75歳以上の人口も増えている超高齢化の状況です。これは一つに、数十年の間に寿命が延びていて、それに伴って健康寿命が延びています。これらは、この間の行政を始めとした各専門分野の方々の努力の賜物と認識しています。

今回のアンケート調査でそれらの成果を再度確認するという事です。皆さんの意見を広くお願いしたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

議題 第2次心も身体も健康プラン中間評価について

事務局より、資料1「第2次心も身体も健康プラン中間評価実施案」に基づき説明した。

資料1をご覧ください。

1. スケジュール

日程	内容
2019年1月11日(金)	我孫子市心も身体も健康プラン推進委員会 実施済み
2019年2月22日(金)	我孫子市健康づくり推進協議会
2019年4月	入札、契約
2019年6月末まで	アンケート送付
2019年7月から7月31日	アンケート実施・回収
2019年8月1日から9月30日	アンケート分析
2019年10月末まで	市民アンケート調査結果報告書作成
2019年11月末まで	中間評価報告書(案)作成
2020年1月	我孫子市心も身体も健康プラン推進委員会
2020年1月	我孫子市健康づくり推進協議会
2020年2月末まで	中間評価報告書納品、印刷、製本

2. アンケート配布数

	年代別人口	必要サンプル数	前回回収率	配布予定数
20 歳代	11,994	200	20.8	964
30 歳代	13,816	200	28.5	702
40 歳代	21,260	200	33.3	602
50 歳代	16,790	200	39.8	503
60 歳代	17,178	225	56.3	400
70 歳代	18,886	269	67.3	400
80 歳代	8,935	228	57.0	400
合計	108,859	1,522	-	3,971

※5年以上市民である者。郵送、返信用封筒にて回収。

※20歳代から40歳代までのサンプル数確保のため、4か月児相談保護者に対し郵送によるアンケートを実施。また、がん検診（個別検診）通知発送者にWEBアンケートを上記に追加して実施。

	配布数	抽出方法
小学校1年生保護者	400	我孫子市内13小学校の1年生の内各1クラス
小学校4年生	400	我孫子市内13小学校の4年生の内各1クラス
中学生	400	我孫子市内6中学校の1年生の内各2クラス
高校生	400	我孫子市内1高等学校の2年生全クラス（400人に満たない場合は2高等学校）

※学校を通じて配布、回収

3. 集計・分析方法

アンケート各項目の単純集計、項目間のクロス集計を行う。

第2次心も身体も健康プラン策定時（平成25年度）に用いた市民アンケートのデータと、今回（平成31年度）の市民アンケート等を比較し、結果から導き出される傾向、課題、現況値、目標達成率等を分析。

- (1) 表及びグラフによる各質問の単純集計結果の表示。
- (2) 単純集計結果から見られる傾向等の分析・課題を記載。
- (3) クロス集計実施による課題の抽出と表示。

※また、それぞれの質問に対して、人数、標準偏差、標準誤差、95%信頼区間とP値（vs 目標値）とP値（vs 現況値）を算出。必要に応じて、平均値、年齢調整値を算出。

4. 中間評価報告書

集計・分析によって得られた課題と目標値の評価及びこれまでの取り組みから、今後推進すべき具体的施策・取り組みの方向性を記載。
以上で中間評価実施案の説明を終わります。

以上の報告について、次のとおり質問、意見があった。

内田委員：

高校生の抽出方法のところで、我孫子市内にある4つの高校の定員が、それぞれ200～320人ぐらいのため、1校では400人に満たないため、初めから2校に依頼した方がいいのではないのでしょうか。

事務局：

2校に依頼をかけることにします。

続いて、事務局より、「第2次心も身体も健康プラン中間評価に係る健康についてのアンケート調査票確認について資料2に基づき説明した。

資料2をご覧ください。

委員の方にご協力頂きたいこととして、調査票案（資料3-2から3-7）をご確認いただき、「健康についてのアンケート調査票(案)へのご意見（資料3-1）」へ記入し、2月26日（火）までにFAXかメールにて健康づくり支援課までご回答いただけますでしょうか。

選択肢や設問についての修正案やご意見、設問自体不要等のご意見、設問を追加してほしい等のご意見をいただければと考えています。

続きまして、健康についてのアンケート調査票案についての概要について説明いたします。今回は中間評価となりますので、目標値の評価が主たる目的となります。そのため、目標値の評価に係る設問以外は、回答者の負担軽減のため削除し、設問数を減らしております。

次に、修正した点、追加した点についてご説明いたします。

資料3-4、4ページのをご覧ください。

【20歳代～80歳代 健康についてのアンケート調査票（案）】

・「食品ロス」についての指標を、今回の中間評価後から追加するため、設問を追加しています。（問19から21）

資料3-5、5ページの間24をご覧ください。

【小学校1年生保護者 健康についてのアンケート調査票（案）】

- ・小学校でのフッ素洗口事業を今後推進予定のため、設問を追加しています。

資料3-6をご覧ください。

【小学校4年生 健康についてのアンケート調査票（案）】

習っていない漢字を考慮してルビをふっています。

また、問8については、「1時間以上2時間未満」の「以上・未満」の表記ですが、4年生で習う事項とのことを考慮して、「1時間から1時間59分の間」という表記に変更したいと考えています。

資料3-7をご覧ください。

【中学生・高校生 健康についてのアンケート調査票（案）】

高校2年生に対して市内在住か市外在住かを聞いていますが、市内市外で特に分けて集計することはないので、こちらは削除しました。

ご意見がありましたらよろしく申し上げます。

委員氏名	調査票種類	質問番号	記載内容
宮本副会長	小学校1年生	24	小学校でのフッ素洗口事業実施を希望しますか？
宮本副会長（以下「宮」）：はい、いいえの回答だが、何を知りたくての質問ですか。 事務局（以下「事」）：市では、保育園幼稚園でフッ素洗口事業を行い、小学校でもモデル事業としてフッ素洗口を行っているため、保護者の希望の有無を確認するための設問です。 宮：いいえが多ければフッ素洗口事業はやらない可能性があると考えていいのですか？ 事：全国的にフッ素洗口の効果が評価されています。湖北台東小学校1～3年生のみで、小学校があまり広がっていないこと、保育園、幼稚園でも学校でやらないと実施に踏み切れないという園があります。それを含めて、希望が多いということで伝えていければと思って設問しています。決していいえが多ければやらない、ということではありません。 宮：この設問を入れる必要があるでしょうか。行政としては事業を推進されてますし、各学校でも努力をされているので、結果を何かに活かすのでないのであればこの設問を入れる必要がありますか。 事：やっていない学校の保護者への啓発という意味も含めてアンケートに入れていきます。 宮：わかりました。			
宮本副会長	小学4年生	8	「1時間以上2時間未満」
宮本副会長（以下「宮」）：「以上未満」の意味合いは小学校4年生は知らないのでしょうか？ 鴨下委員：学習しているのでわかるとは思いますが、個人差があるとは思いますが。もしアンケートを学校で実施する場合は、担任が説明をして回答させるのではないのでしょうか。 宮：「1時間から1時間59分の間」の表現では逆にわかりにくいのではないのでしょうか。			

江畑委員：その下にある設問のように波線「～」で表記してはどうか。			
事務局：前回のアンケートでは「1時間～2時間」「2時間～3時間」としていたが、他課から2時間の人はどっちに○つけるのかとい指摘を受けました。鴨下委員から4年生は習っているとのことなので、以上未満で統一することとします。また、小学生のアンケート実施方法については、学校又は自宅で実施するかは、教育委員会指導課と協議中です。			
委員氏名	調査票種類	質問番号	記載内容
内田委員	20歳代-80歳代	30	あなたはたばこを吸いますか？
内田委員：電子たばこだから大丈夫だと思っている人もいるので、たばこの定義を紙と加熱式両方ですと入れた方がいいと思います。			
事務局：たばこ（紙たばこと加熱式たばこ）と書くことにします。電子たばこは日本ではないので、加熱式たばこというのが正式なのでそのように表記させていただきます。			
内田委員	小学4年生	8	学校から帰って、何時間くらいテレビを見たり、ゲームをしたりしていますか？
内田委員：家に帰ってからどのくらいやっているかと聞いているが、今の高校生は朝起きてから、通学中、学校でもやっていることがあるので、電子機器に接している時間を聞きたいのであれば、一日に何時間やっていますかと聞く設問の方がいいのではないのでしょうか。			
事務局：健康プランの目標値は、月から金曜日までの間に一日何時間以上テレビやゲームを見ているかというものであり、「学校から帰って」という部分にこだわっているわけではないので、「学校から帰って」を削除して「一日に何時間くらい」と書き換えます。			
土井会長	20歳代-80歳代	19-21	「食品ロス」の設問の追加について
土井会長：食品ロスについて追加したとのことですが、健康プランと意味合いが違う気がしますが、理由はなぜですか。			
事務局：第2次健康プラン以前に単独であった我孫子市食育推進行動計画を第2次の際、一緒にし、食育計画も健康プランに含まれています。国等の食育計画で食品ロスが追加されたことから今回市の食育の目標値として追加を予定しています。			
永嶋委員	中学生高校生	16	BMI や肥満度を基準値内にするため
永嶋委員：BMI は生徒にはわかるのでしょうか。標準値が正しく理解されていません。標準が太っていると認識されています。実際に計算してみた方は回答してくれると思いますが、全く知らない人はわからないのではないのでしょうか。			
和久井委員：BMI の言葉の説明を加えたらいいのではないのでしょうか。			
江畑委員：BMI の後ろに数式を入れておけばいいのではないのでしょうか。			
事務局：「肥満度やBMI」と表記するようにします。BMI の注釈と数式を入れることとします。			

永嶋委員	中学生高校生	53	あなたの体重は何キロですか。
<p>永嶋委員（以下「永」）：多分、正確な体重をかいてくれないのではないのでしょうか。3～5 kg マイナスで書く傾向があります。女子大学生の調査をした時に正確に書いてくれなかったのが本当に信頼のあるデータかどうか気になります。</p> <p>事務局（以下「事」）：なぜ正確な体重よりも3～5 kg マイナスで書く傾向があることをご存じなのですか。</p> <p>永：大学の授業の中で実際に体重を計ってみる機会があり、実際の体重と差がないのかと検証してみた結果、正しい数字を正直に書いた学生（ほぼ女子）はほとんどいなかったです。</p> <p>宮本副会長（以下「宮」）：やせたい願望が先にたつので、朝の排尿の後に裸で測った体重が自分の基本体重と認識していないと思います。洋服を着て洋服分2 kg くらいを引いた体重を認識しているのではないのでしょうか。</p> <p>永：仰る通りです。考察、分析のところだと検討してみた方がいいのではないのでしょうか。正確ではない数値かもしれない、特に中高生はという点を考慮して、一つの意見としてご検討ください。</p> <p>事：データを集計してみて、判断材料として検討させていただきます。</p> <p>和久井委員：個人的に名前を出すものでもないので「正確にお書きください」と書いたらどうですか。</p> <p>永：無記名でお願いしていても、正確には書いてもらえなかったです。無記名でやってみました。同じ集団で1つは体重計で測った数字、1つは自己申告で書いてもらった数字、それを平均してみたところ、ズレが出ました。正直な値ではありませんでした。未記入というのもありました。</p> <p>宮：54の質問も太っていると○すると思います。あまり正確な数字はでないかもしれません。本当の理想の体重を知ってほしければ、BMIを計算させて動機付けさせたりするのがいいと思います。</p> <p>永：こういう傾向だという男女差が出てきたり標準体重を正しく認識していないと結果が導き出せるかもしれないし、動機付けとしても大切な設問だと思います。</p> <p>土井会長（以下「土」）：体重は前回のアンケート調査票にも入っていたのですか。</p> <p>事：前回も入っていました。前はアンケートのおもて面で最初のページに掲載していましたが、それだと回答してもらえないことを懸念して、最終ページに入れました。</p> <p>土：前回と比較という意味で、体重も入れた方がいいのではないのでしょうか。その辺は、事務局で判断されるということによろしいのでしょうか。</p> <p>事：はい。</p>			
委員氏名	調査票種類	質問番号	記載内容
江畑委員	鑑文		回答時間は10分程度です。
<p>江畑委員（以下「江」）：回答時間は10分と書いてあるが、20～80才の調査票は、10分で終わらないのではないのでしょうか。若い世代ほど、設問が多すぎて途中で回答を諦め、回収率が悪くなります。設問が多すぎると思います。</p> <p>和久井委員：でも中間評価項目だから変えることができないのではないのでしょうか。問1の健康</p>			

とはどんなことだと思いますかのところで、どの回答もあてはまりそうで、○は一つだと言われると考えるので、10分ではできないと思います。

事務局（以下「事」）：課内職員にさせてみたところ、12・13分程度でした。10分程度と書くことで回答率が上がるのではないかと考えました。前回のアンケートでは入れていません。

江：かえって回答時間は書かないほうがいいのではないのでしょうか。

事：もう少し検討させていただきます。

事務局：

このほかにご意見がありましたら、2/26（火）資料3-1に記入して、FAXやメールにて健康づくり支援課までお願い致します。

事務局で調整して、最後会長に確認の上、決定したいと思いますので、事務局と会長に一任して頂けますようよろしくお願い致します。

来年度の会議については、第1回を9月下旬頃に実施し、内容は第2次心も身体も健康プランの進捗状況（平成30年度）について協議します。第2回を1月頃に実施し、健康についてのアンケート集計結果を元にまとめた中間評価の報告を予定しています。

以上ですべての議題を終了し、健康づくり推進協議会を閉会した。